

授業概要

人間の学習と発達のプロセスについて理解を深め、教育心理学の理論と教育場面での実践を結びつけて考えることを目的とする。授業では、学習の原理に関する諸理論、個別や集団場面での指導法、子どもの発達の様相などを中心に講義する。また、受講生同士での話し合いの場を設け、教育心理学を生かした実践の具体例を考えたり、実践場面における諸問題について教育心理学的な視点から分析することを促す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	学習のメカニズム
第 3 回	記憶と知識獲得
第 4 回	理解
第 5 回	問題解決
第 6 回	学習の動機づけ
第 7 回	メタ認知
第 8 回	自己調整学習
第 9 回	協同による学習
第 10 回	学力と学習の評価
第 11 回	特別支援教育と発達障害
第 12 回	理論と実践をつなぐ①：個別学習相談の理論
第 13 回	理論と実践をつなぐ②：個別学習相談の実践
第 14 回	理論と実践をつなぐ③：授業デザインの理論
第 15 回	理論と実践をつなぐ④：授業デザインの実践
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・教育心理学の基礎的な知識や概念について自分の言葉で説明できる。
- ・教育心理学の知見をどのように実践に生かせるのかについて、具体的に意見を述べることができる。
- ・実践場面で生じる諸問題について、教育心理学的な視点から分析することができる。
- ・他者との協同の中で、疑問を解消したり考えを深めたりすることができる。

履修上の注意

授業中は、講師からの説明だけでなく、受講生同士での話し合いの場を設ける。
他の受講生とも協力しながら、主体的に授業に参加することを求める。

予習・復習

予習：教科書に目を通し、疑問点やもっとよく知りたい点を考えておくこと。
復習：授業で学習した内容について、分かった点やまだよく分からない点をまとめておくこと。
(予習や復習を通じて出てきた疑問点については、授業内でフィードバックを行う)

評価方法

学期末試験70%、授業内レポート20%、受講態度10%
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、学期末試験をレポートに変更する可能性もある。

テキスト

- ・教科書名：Progress & Application 教育心理学
- ・著者名：瀬尾美紀子
- ・出版社名：サイエンス社
- ・出版年 (ISBN)：2021年 (978-4-7819-1513-5)